

くずまぎ
子どもESD

SPRING SCHOOL

森と風のがっこう

子どもゆめ基金
(独立行政法人国立青少年教育振興機構)
助成活動

スプリングスクール

「インターネットラジオ放送局」開局!

エコ生活・自然エネルギーのまちを伝えるメディアをつかってみる

3/24 土 ▶ 28 水 [4泊5日] 対象 小4～中3

自然エネルギーを自分たちでつくる、つかう

太陽光パネルを組み立てて、自分たちの発電所をつくっちゃおう。うちから取り出したバイオガスで料理したり、お風呂を薪で沸かしたり、エコハウスに泊まったり、生活の中で楽しみながら自然エネルギーを使っていきます。

葛巻町は、自然エネルギーのまちとして全国から注目されています。エコ生活を実践しているまちの人々や自然エネルギーの施設を訪れて、未来のまちづくりのヒントを探してみよう。

自然エネルギーのまちを探ろう

「自然エネルギー放送局」から発信

森と風のがっこうの循環型の生活や葛巻町の自然エネルギーの取り組みを題材に番組をつかって、インターネットを通して自分たちの体験を伝えよう。放送の電源には太陽光パネルを使って、自然エネルギーで全国に発信!

開催趣旨 未来を生き抜いていくためのコミュニケーション力を養う!

3月11日の震災や原発事故を経て、これまでのエネルギー使い放題の暮らしから、持続可能な暮らし方への転換が求められています。生活そのものを基軸に据え、「エネルギーの循環」、「自然資源を活かす山村の暮らし」、「いのちのつながり」、「アート」、「演劇」など様々なテーマを重ねながら、これからの暮らし方を体験を通して考えていくスクールを森と風のがっこうで通算13回開催してきました。

今回のスクールでは、自分たちが体験・発見したことを、楽しみながら外に向かって発信します。コミュニケーション力を育むだけでなく、主体的に情報を選択し使い分けるといったメディアリテラシー力も形成したいと思います。ポスト3.11を生き抜いていくためには、自分にとって本当に大切な情報を選び取り、必要な相手に伝えることが何よりも大切だからです。

森と風のがっこうコーチョー 吉成 信夫

詳しい日程は裏面をご覧ください。▶



日程表

1日目 3/24(土)	13:45	いわて沼宮内駅集合、マイクロバスで移動
	15:00	開校式 導入のお話「3.11後の森と風のがっこうの活動」【講師:吉成】 森と風のがっこう循環型の施設探検
夕方		循環型の生活体験 ※毎夕実施 (食事づくり、家畜の世話、薪でお風呂沸し)
夜		振り返り ※毎晩実施 (感想などを言葉にして共有)
2日目 3/25(日)	朝	循環型の生活体験 ※毎朝、実施 (家畜の世話、食事づくり)
	AM	お話「自然エネルギーとこれからの暮らし」【講師:武内氏】 「太陽光発電システムを実際に組み立ててみよう」 お話「メディアの役割」【講師:細川氏】
	PM	番組づくり(導入、取材準備)【講師:吉成】
	夜	エコキャビン宿泊 (土壁断熱、自然エネルギー100%のエコハウス)
3日目 3/26(月)	AM	「自然エネルギーの町を探ろう」 葛巻町内の自然エネルギーの施設を取材
	PM	昼食後 まちの人々に突撃インタビュー
	夜	エコキャビン宿泊
4日目 3/27(火)	AM	番組づくり(取材のまとめ、内容制作)
	PM	番組づくり(リハーサル)
5日目 3/28(水)	AM	自然エネルギー放送局開局 (番組発表/電源は太陽光パネル) まとめと振り返りの時間
	13:30	現地解散
	14:30	いわて沼宮内駅解散

※天候・主催者の都合により変更する場合があります。

開催要項

- 主催 くずまき・自然エネルギースクール実行委員会
 - 後援 岩手県教育委員会、葛巻町、葛巻町教育委員会、盛岡市教育委員会(予定)
 - 期日 2012年3月24日(土)~28日(水)[4泊5日]
 - 場所 森と風のがっこう、葛巻町内の近隣地域
(最寄の下車駅:東北新幹線 いわて沼宮内駅)
 - 対象 小4~中3 20名
 - 参加費 16,000円(食費、保険代、施設使用料等)
 - お申込 下記の必要事項を明記の上、郵送、FAX、E-mailにてお送り下さい。詳しい内容等については、お申し込み後にご案内します。
- 【スプリングスクールお申込必要事項】

(1) 氏名・ふりがな	(5) 〒・住所
(2) 性別	(6) TEL・FAX
(3) 生年月日	(7) E-mail
(4) 学校名・学年	(8) 保護者氏名・ふりがな
- 締切 2月末日(応募多数の場合は抽選)
※定員に満たない場合は、先着順で受付します。



ESD とは…

「持続可能な開発のための教育」のこと。
国連でも推進のためのキャンペーンを実施中。

主な特別講師

全体企画・監修

吉成 信夫

NPO法人
岩手子ども環境研究所理事長



自然エネルギー担当

武内 賢二

ソーラーワールド代表



メディアプランニング担当

細川 剛

写真家



心とからだのつながりを回復する演劇的手法をまなぶ。「石と賢治のミュージアム」(一関市)研究専門員を経て、森と風のがっこうを開校。2010年3月まで、県立児童館いわて子どもの森館長を開館から7年間務め、「子ども自由ラジオ放送局」を開設。森と風のがっこうのコーチョーとして、北欧のライフスタイルにまなびながら、エコな生活提案を進めています。

自然エネルギー事業協同組合レクスタの一員として東北地方を担当する。家庭での自然エネルギー導入を数多く手がけている他、森と風のがっこうにおいては、自然エネルギー設備設置や自然エネルギースクールの講師も担当している。3.11の震災後には「つながりぬくもりプロジェクト」で被災地に太陽光発電を設置する支援活動にも携わる。

北里大学獣医学部在学中より写真家の道を志し、菅原光二氏に師事する。その後十年余り十和田に住み、森や川原に通い、そこに満ちる生命の流れを見つめ続ける。最近は岩手県盛岡市にも拠点をもち、より足下での様々な生活や時間の流れに関心をよせつつある。1998年「森案内」で、第14回東川賞新人作家賞を受賞。日本写真家協会会員。兵庫県出身。

お申込・お問い合わせ

「くずまき・自然エネルギースクール実行委員会」事務局

〒028-5403 岩手県岩手郡葛巻町江刈42-17

NPO法人 岩手子ども環境研究所(森と風のがっこう)内

●TEL&FAX 0195-66-0646

●E-mail morikaze0@gmail.com

●HP <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~morikaze>

森と風のがっこうへの交通アクセス

いわて沼宮内駅より、スタッフ付き添いによる送迎有り。森と風のがっこうに直接お越しいただいても結構です。

【公共交通機関】いわて沼宮内駅からバス、車で約40分

【自動車】東北自動車道滝沢I.C.から約1時間5分

東北自動車道一戸I.C.・九戸I.C.から約1時間

活動の拠点【森と風のがっこう】と【葛巻町】

■森と風のがっこうは、標高700m・12世帯の集落にある廃校を再利用したエコスクール。「もったいない、ありがたい」を合言葉に、自然エネルギーを取り入れた循環型の生活スタイルを、楽しみながら体験できる場づくりを進めています。空缶風呂やバイオガス装置、環境共生建築のカフェをはじめ、自然エネルギー研修施設エコキャビンも完成。親子対象のえほんの森、子育てと循環の森づくりにも取り組む。平成17年版「環境白書」、「子ども環境白書」に掲載。

■葛巻町は、「エネルギー自給100%のまち」を目指し、全国的にも最も先進的なまちの一つとして全国から視察が絶えない。自然エネルギー関連施設が数多く点在し、まち全体が自然エネルギー博物館と呼ぶにふさわしい。

